

## 令和5年第9回定例教育委員会会議録

1 開催日	令和5年9月22日(金)	
2 開催場所	市役所本庁舎301会議室	
3 出席した委員	教 育 長 中 川 宣 芳 委 員 伊 藤 和 子 委 員 加 藤 由 美 委 員 野 中 亮 秀 委 員 古 田 重 紀	
4 欠席した委員	なし	
5 説明のため に出席した 職員	教 育 部 長 伊 藤 京 子 健康生きがい支え合い推進部長 江 口 幸 全 こども未来部長 川 尻 卓 哉 教 育 部 次 長 矢 本 博 士 健康生きがい支え合い推進部次長 落 合 健 一 こども未来部次長 伊 藤 加 代 子 教 育 総 務 課 長 兼 学 校 教 育 ICT 推 進 室 長 丸 藤 卓 也 学 校 給 食 課 長 林 泰 博 学 校 給 食 課 主 幹 小 川 敬 介 学 校 教 育 課 長 吉 田 隆 学 校 教 育 課 指 導 主 事 兼 主 幹 鈴 木 久 代 学 校 教 育 課 指 導 主 事 兼 主 幹 兼 教 育 総 務 課 主 幹 長 谷 川 真 文 化 財 課 長 兼 小 牧 山 課 長 武 市 礼 子 図 書 館 長 岩 本 淳 文 化 ・ ス ポ ー ツ 課 長 藤 田 伸 也 味 岡 市 民 セ ン タ ー 所 長 加 藤 吉 宏 東 部 市 民 セ ン タ ー 所 長 松 浦 正 記 北 里 市 民 セ ン タ ー 所 長 平 手 明 仁 こ ども 政 策 課 長 小 川 喜 世 子 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 長 野 田 弘 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 指 導 保 育 士 鈴 木 貴 子 教 育 総 務 課 庶 務 係 長 遠 山 史 織	
6 本委員会書記	教 育 総 務 課 庶 務 係 主 査 山 田 晶 尚 教 育 総 務 課 庶 務 係 主 事 稲 垣 翔 太	
7 報告及び連 絡事項	報告第 1号 愛知県市町村教育委員会連合会「令和6年度文教施策と予算措置に関する要望書」について 報告第 2号 行政文書の開示について 連 絡 事 項 10・11月行事予定 報告第 3号 令和5年度全国学力・学習状況調査について 報告第 4号 愛知県休み方改革プロジェクトの小牧市での取組について 報告第 5号 小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について 報告第 6号 行政文書の開示について 報告第 7号 小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について	

＜開会 午後2時00分＞

公開会議

## ○教育長（中川宣芳）

それでは、ただいまより令和5年第9回定例教育委員会を開催いたします。

初めに、8月16日開催の令和5年第8回定例教育委員会の会議録につきましては、お手元にお示しのとおり、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、会議録は承認とさせていただきます。

続きまして、私から教育長報告をさせていただきます。

9月20日水曜日に秋の彼岸入り、そしてあしたは彼岸の中日となりますが、今年はまだまだ暑い日が続いております。

そうした中、市内小学校におきましては、修学旅行や遠足などの行事が計画されているところであります。また、中学校におきましては、先週、今週、来週にかけて中間テストも計画・実施されておりまして、小中学校ともに毎日が充実した学校生活になっているものと考えております。

多くの学校行事が計画される2学期ではありますが、児童生徒の健康面に目を転じますと、新型コロナウイルス、インフルエンザの感染状況が心配されるところで、教育活動への影響が出ないよう配慮しつつ、全ての学校で一人ひとりの児童生徒が笑顔で充実した学校生活を送ってくれることを強く願うばかりであります。

また、9月16日土曜日には、教育委員会主催の行事ではありませんが、まなび創造館のあさひホールを会場に信長サミットが開催されまして、多くの市民の皆さんとともに加盟する市町の首長が一堂に会し、小牧山・小牧山城に関するトークセッションを熱心に聞く機会が持たれました。史跡小牧山を所管する教育委員会といたしましては、この先も市のシンボルである小牧山の整備、管理に努めていく思いを改めて感じたところであります。

また、同日、小牧山史跡公園内におきまして小牧山薪能も催されました。天候にも恵まれ、市内外の多くの皆様に幽玄の世界を堪能していただくことができました。来場された皆様の笑顔を見るにつけ、今後も小牧山からこうした文化の発信が続けられるよう努めてまいりたいとも感じたところであります。

ほかにも9月14日木曜日には、有機野菜を使用した学校給食の実施が行われたり、また、ある民間が実施しました全国「地域元気指数調査」の「図書館の満足度」の項目で小牧市が全国第3位に入るなど、各担当課が諸課題の改善に努めて地道に事務の執行に努めていることも併せて報告をさせていただきたいと思っております。

いずれにしましても、今後も教育委員会所管事業が補助執行の2つの部の事業を含めて滞りなく進められますよう、全体の連絡調整を図りつつ努めてまいりたいと思う次第です。

私からの報告は以上であります。

次に、部長報告をお願いします。

伊藤教育部長。

### ○教育部長（伊藤京子）

私からは、3件の報告をさせていただきます。

最初に、9月の議会関係についてであります。

まず9月4日、5日の2日間にわたり一般質問が行われ、教育委員会関係では4名の議員から質問がありました。発言通告書は次回の定例教育委員会で配付をさせていただきます。

また、教育委員会関連の請願2件が9月11日の文教建設委員会で審査され、9月14日開催の本会議で「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書」は採択、「学校給食の完全無償化を求める請願書」は不採択と決しました。

そして、「小牧市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」が9月6日開催の総務委員会で、「令和5年度一般会計補正予算」が9月7日開催の予算決算委員会福祉厚生分科会で、「令和4年度一般会計決算」が9月7日開催の予算決算委員会福祉厚生分科会と9月11日開催の予算決算委員会文教建設分科会でそれぞれ審査され、これらは9月14日開催の本会議でいずれも原案のとおり可決されました。

続きまして、来年度予算の編成方針について報告をさせていただきます。

令和6年度の小牧市の予算編成方針が9月6日に決定されました。

その内容を要約して申し上げます。

令和4年度の決算では、歳入面で企業収益が堅調に推移したことなどにより、市税収入がコロナ禍前の水準に回復したところであるが、燃料費の高騰や原材料価格の上昇が企業に与える影響は依然不透明であり、引き続き注視していく必要がある。

歳出面では、少子高齢化の進展による社会保障関連経費の増加に加え、公共施設等の更新事業など避けることのできない財政需要の増加が見込まれ、今後も厳しい財政環境が続くことが想定される。そこで令和6年度の予算編成に当たっては、限りある経営資源を最大限有効に活用する観点から、経常的な事業を含めた既存事業の徹底した見直し、改善により経費の節減合理化を行った上で、必要な財源を重要施策に優先的かつ積極的に配分することとする。

施策目的の達成に向け、より効果の高い事業に重点配分するために、各部が主体的かつ責任を持って事務事業の優先順位づけを行うこと等により、真に必要な事業の財源を確保するなど、創意と工夫を凝らし予算編成を行うこととするとの方針であります。

教育委員会としましても、この方針に従って、令和6年度の予算編成作業を進めてまいります。

最後に、全国都市教育長協議会から国に「令和6年度文教に関する国の施策並びに予算

についての陳情」を行いますので、陳情書の写しを委員の皆様へに配付させていただきました。

報告は以上であります。

### ○教育長（中川宣芳）

ありがとうございました。

本日ですけれども、ご審議いただく議題についてはございませんので、早速報告・連絡事項に入りたいと思います。

初めに、教育総務課、お願いします。

丸藤教育総務課長。

### ○教育総務課長兼学校教育ICT推進室長（丸藤卓也）

それでは、報告第1号「愛知県市町村教育委員会連合会「令和6年度文教施策と予算措置に関する要望書」について」でございます。

1ページをお願いいたします。

愛知県市町村教育委員会連合会より要望書を取りまとめ、8月23日に愛知県教育委員会に提出した旨、報告がございました。

なお、小牧市教育委員会といたしましては、「医療的ケア児の就学支援体制の充実」及び「部活動の円滑な地域移行への支援」について、要望を提出させていただいております。

続きまして、報告第2号「行政文書の開示について」でございます。

3件報告させていただきます。資料はございません。

1件目は、7月13日付けで市外法人から、「光ヶ丘小学校及び小牧西中学校体育館床改修工事の金入り設計書」についての開示請求がございました。この開示請求に対しましては、開示の決定を行い、7月20日付けで請求者の方に通知をいたしました。

2件目は、9月4日付けで市外法人から、「通学路安全対策工事及び通学路安全対策工事（その2）」の開示請求がございました。この開示請求に対しましては、開示の決定を行い、9月6日付けで請求者の方に通知をいたしました。

最後、3件目です。9月13日付けで市外法人から、「小牧西中学校及び光ヶ丘小学校体育館床改修工事の設計内訳書の構成比率（金入り設計書）」の開示請求がございました。この開示請求に対しましては、開示の決定を行い、9月14日付けで請求者の方に通知をしております。

次に、連絡事項、10月、11月の行事予定でございます。

11ページをお願いいたします。

10月の予定でございます。

4日から6日にかけて、全国史跡整備市町村協議会が埼玉県川越市で開催されます。

12ページをお願いいたします。

17日火曜日は、愛日地方教育事務協議会が尾張旭市役所で開催されます。

26日木曜日は、午後2時から定例の教育委員会を301会議室で開催いたします。  
27日金曜日は、尾張部都市教育長会議が岩倉市総合体育文化センターで開催されます。  
29日日曜日は、桃陵中学校におきまして、総合防災訓練を実施いたします。  
13ページをお願いいたします。  
11月の予定でございます。  
9日木曜日は、全国都市教育長協議会理事会が東京都、田中田村町ビルで開催されます。  
13日月曜日は、午後2時から定例の教育委員会を404の会議室で開催いたします。  
14ページをお願いいたします。  
16日から17日にかけて、東海北陸都市教育長協議会役員会が刈谷市で開催されます。  
24日金曜日は、県民の日学校ホリデーになります。  
30日木曜日は、本会議の招集日となっております。  
10月、11月の行事予定は以上であります。  
以上で報告・連絡事項とさせていただきます。

### ○教育長(中川宣芳)

次に、学校教育課、お願いします。

長谷川学校教育課指導主事兼主幹。

### ○学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹(長谷川真)

それでは、私より、報告第3号「令和5年度全国学力・学習状況調査について」報告をさせていただきます。

資料の15、16ページをご覧ください。

今年度は、4月18日に小学校6年生、中学校3年生を対象として行われました。

毎年行われている国語、算数、数学に加えて、4年ぶりに中学校によって英語が実施されました。

その結果につきまして、市全体の状況を小学校は15ページ、中学校は16ページにまとめております。それぞれ各教科の結果を紙面の上段に、質問紙調査から把握した学習態度・生活態度の状況を紙面下段にまとめ、中央には今後取り組む指導改善のポイントを書かせていただいております。

まず、各教科の結果についてです。

平均正答数においては、小学校の国語と算数、中学校の国語はおおむね県平均と同等の結果となりました。中学校の数学と英語は全国平均とおおむね同等かやや高いものの、県平均よりやや低い結果となりました。

小牧市の特徴的な傾向については、教科ごと、小学校・中学校ごとに紙面に上げさせていただきますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

本結果を受けて、国語においては、小中学校ともに書くことの指導を特に充実させてまいりたいと思っております。算数、数学においては、図形について観察や操作などの活動

を通して、実感を伴いながら理解する授業に力を入れていきたいと思っております。英語においては、聞くこと、読むことについて、日常的な話題を題材に自分の置かれた状況から何が必要な状況か判断したり、関連する語句や表現に着目したりして、聞いたり読んだりする力がつくよう指導を工夫していきます。

また、学習態度や生活態度についての質問紙の調査の結果については、下段をご覧ください。

特徴的なものを紙面に書かせていただきました。

まずは生活態度においては、小中学校とも家庭での基本的な生活習慣が守られていることがうかがえます。また、「困っている人を進んで助ける」と回答した割合は高く、望ましい人間関係を構築する態度がうかがえます。さらに、「いじめはどんな理由があってもいけない」という回答の割合は、小中学校いずれも9割を上回り、小牧の子どもたちの規範意識の高揚が感じ取れます。

下段右側になりますが、学習態度につきましては、子どもたち自身が受け身的にならず、主体的に課題に向かう態度において、小学校では肯定的な回答が全国平均をやや下回る結果となりました。主体的、対話的で深い学びを意識し、より魅力ある授業づくりに力を入れていきたいと考えております。

また、ICT機器の使用頻度については、小中学校とも県や全国平均を大きく上回っています。今後は使用頻度のみならず、ICT機器の利便性を生かした効果的な活用を模索していきたいと考えております。

これらの結果から、今後も学び合う学びの授業を推進するとともに、教科の単元や場面に応じて基礎的、基本的な知識・技能の定着を目指すとともに、子どもたちが学びを楽しみ、日々自分自身の成長を感じられるような授業を展開してもらいたいと考えております。

なお、これらの結果につきましては、今後各学校においても結果を分析して、10月に合わせて保護者向けに配付できるように準備を進めております。

続きまして、報告第4号「愛知県休み方改革プロジェクトの小牧市での取組について」報告をさせていただきます。

資料の17ページをご覧ください。

今年度から始まった愛知県「休み方改革」プロジェクトの目的は、(1)にありますように、休み方改革を通じ、ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による日本経済の活性化を実現するためです。

プロジェクトの概要につきましては、(2)に記載されているとおりですので、ご確認ください。

保護者が土日に働いている家庭では、子どもと過ごす時間を取りづらい現状があります。そこで、特に③の家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくりとして、愛知県が県民の日学校ホリデーとラーケーションの日を創設しました。

では、(3)の「県民の日学校ホリデー」の創設・実施をご覧ください。

県民の日学校ホリデーは、毎年11月21日から27日までのあいちウィーク期間中の平日1日を指定して学校休業日とすることです。令和5年度の小牧市内の実施状況は、全ての小中学校で11月24日金曜日となります。

次に、「ラーケーションの日」の創設・導入をご覧ください。

ラーケーションの日は、学び「ラーニング」と休暇「バケーション」を組み合わせた愛知県初の新しい学び方、休み方であり、平日における校外での自主学習活動を子どもが保護者と一緒に計画し、平日に実行できる日です。

児童生徒は、登校しなくても欠席扱いとはならず、令和5年度は2日間、令和6年度からは3日間取ることができます。令和5年度の小牧市の実施期間は、10月2日月曜日からとなっております。なお、令和6年度以降は4月から取得可能です。

今後は、ラーケーションの日の取得状況を注視していこうと考えております。

私からは以上です。

#### ○教育長(中川宣芳)

吉田学校教育課長。

#### ○学校教育課長(吉田隆)

続きまして、私から1点報告させていただきます。

18ページをお願いいたします。

報告第5号「小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について」でございます。

「不登校は不幸じゃないin小牧」という団体から同じく「不登校は不幸じゃないin小牧」という催事の開催について、後援名義使用の申請があったものでございます。

催事の内容を総合的に勘案した結果、後援の名義使用を許可いたしました。

学校教育課からは以上です。

#### ○教育長(中川宣芳)

次に、文化・スポーツ課、お願いします。

藤田文化・スポーツ課長。

#### ○文化・スポーツ課長(藤田伸也)

それでは、文化・スポーツ課から2件、報告をさせていただきます。

報告第6号「行政文書の開示について」、3件報告をさせていただきます。

資料はございません。

市外在住の同一人物の方より、小牧市温水プールの指定管理に係る契約内容等について開示請求がありました。

令和5年8月1日付けの2件の開示請求につきましては、8月10日付けで1件を一部開示、1件を不開示決定、令和5年8月10日付けの1件の開示請求につきましては、8月24日付けで一部開示をして請求者に通知をいたしました。

続きまして、報告第7号「小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について」ご報告をさせていただきます。

20ページをお願いいたします。

名鉄広見線活性化協議会より、広見線沿線なぞときゲーム「消えたサムライの落とし物」について、小牧市教育委員会の後援名義使用の申請があったものであります。

その内容は、名鉄広見線沿線を含む地域の活性化と沿線のにぎわい創出を図ることを目的として、名鉄広見線新可児駅から御嵩駅間での屋外体験型なぞときゲームを実施するものであり、催事の内容を総合的に勘案した結果、後援名義使用を許可したものであります。

以上でございます。

#### **○教育長（中川宣芳）**

報告・連絡事項は以上であります。何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

いかがでしょうか。

どうぞ。

#### **○委員（古田重紀）**

全国学力・学習状況調査でお伺いしたいのですが、小牧市の場合は外国出身の方のお子さんがたくさんみえて、学校訪問をさせていただくと非常に人数が多いと思うのですが、外国出身の方のお子さんたちの何か影響は、小牧市として、この調査にどのような感じで表れているかを分析というのか、どんなふうに認識されているかを参考にお伺いしたいのですが。

#### **○教育長（中川宣芳）**

長谷川学校教育課指導主事兼主幹。

#### **○学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹（長谷川真）**

古田委員のご質問ですが、今回の調査もそうですが、ふだんの授業やテストもそうなのですが、やはり外国にルーツを持つ子どもたちの理解度がどのようであったかは気にするようしております。そこからPDCAサイクルを回すことが大切であり、調査結果を分析して学校の課題を明らかにし、それをさらに授業改善に生かすために実施しているものでありますので、外国にルーツを持つ児童生徒についても結果をよく見て、今後の理解を少しでも増すよう改善に努めていきたいと考えております。

#### **○教育長（中川宣芳）**

よろしいですか。

#### **○委員（古田重紀）**

ありがとうございました。

小牧市としては、外国人の方がたくさん住んでいることで、小牧市の地域の力になっているというプラスの部分も当然ありますけれども、先生方が教えられる際に、やはり言葉の問題は、非常に大変な部分があるかと思えます。小牧市内でも地域によってかなり差



があると思うのですけれども、学校ごとに考えるという部分もあれば、外国籍で、特に言葉の問題でなかなか問題文の理解が難しかったり、先生の説明がなかなか十分に理解できなかったりという部分もあるかと思います。小牧市全体として、どんなやり方、対応の仕方が一番効果的なのか、あるいは現状にどういう問題があるのかということ、教育委員会が主導して、方策等を現場の先生方と一緒に考えていただくよう要望します。

**○教育長（中川宣芳）**

ご意見、ご要望でよろしいですか。

**○委員（古田重紀）**

はい。

**○学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹（長谷川真）**

分かりました。

**○教育長（中川宣芳）**

ほかにございますか。

伊藤委員。

**○委員（伊藤和子）**

昨年度もその前年度も同じだったと思うのですが、小牧市は無回答率が全国平均より高いのでしょうか。今年度は低かったのですか。この調査はマークシートでしたか、記述式でしたか。

**○教育長（中川宣芳）**

長谷川学校教育課指導主事兼主幹。

**○学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹（長谷川真）**

伊藤委員のご質問への回答ですが、問題形式については記号の問題もあれば、記述の問題もあります。ご指摘のように、無回答率が全国平均よりやや高い結果となった教科が多いことは否めませんので、こちらにつきましても日頃の授業から、粘り強く取り組む姿勢を子どもたちが身につけられるような魅力ある授業をしていくように努めてまいりたいと思います。

中には、中学校の国語のように無回答率が全国平均よりやや低いという結果もありますので、こういったように他の教科でも子どもたちが粘り強く取り組む姿勢が身につくようにサポートしていきたいと考えております。

**○委員（伊藤和子）**

やはり根気強く、回答に至るまでの過程がとても大事で、社会に出たときに、その粘り強さが役に立つ日が来ると思います。だから、学校全体で、何でもいから回答を書いて自分の考えを表していこうという方向性になっていただけるといいと思います。昨年度も申し上げたと思うのですが、また今年度もよろしくお願ひしたいと思います。

**○教育長（中川宣芳）**

ご意見としてでよろしいですか。

**○委員（伊藤和子）**

はい。

**○教育長（中川宣芳）**

ほかございますか。

加藤委員。

**○委員（加藤由美）**

引き続いて学力調査のことです。

毎年この結果を見させていただいて、国語力の部分が低いというのか、自分の考えをきちんとまとめる、記述されていることの要旨をつかむ、それを分かるように表現するという部分がなかなか高くなっていないのかなと感じています。ですので、意見として、その辺りの指導に、ぜひ力を入れていただきたいと思います。

1つお尋ねします。今回、中学校3年生の結果が出ていますが、この子たちが小学校6年生のときに受けた調査の結果と現在の結果と比べて、どんなふうに力が身についてきたのかという分析はされているのでしょうか。

**○教育長（中川宣芳）**

長谷川学校教育課指導主事兼主幹。

**○学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹（長谷川真）**

ありがとうございます。

加藤委員のご質問への回答ですが、市教育委員会からはご覧いただいた分析結果を作成し、それを鑑みて各学校でもまとめを作っております。中には、小学校6年生からの比較をする学校もありますし、そうでない学校もあると思います。校長会議、教頭会議、教務主任会議等々で、一つの視点として一人ひとりを捉える手法を共有していきたいと思っております。ありがとうございます。

**○委員（加藤由美）**

やはりどんなふうに力がついてきたのかは知りたいと思います。小学校6年生と中学校3年生は、この資料だけ見ると点でしか見えないので、それを線で見えていくことも非常に重要だと感じます。それによって力が身についてきたことや、学びの成長過程が明確になってくると、指導にもきっと役立つのではないかと感じますので、ぜひお願いします。

**○教育長（中川宣芳）**

ほかございますか。

加藤委員。

**○委員（加藤由美）**

もう一つ、全国平均と県平均という視点で比較して見てみたのですけれども、愛知県は、小学校は下のほうの順位で、中学校は高い順位であって、中学校は県平均も高いのだけ

ど、それに合わせて本市も同等となっています。小学校での力がまだまだついていないようですが、でも中学校になると逆に伸びてくる。そういう捉え方をすると、小牧市の教育がきちんと子どもたちの身につけているのかなと思いますので、ぜひ小学校の子どもたちの力をつけていっていただくとよりいいと思います。

**○教育長（中川宣芳）**

よろしいですか。

**○委員（加藤由美）**

はい。

**○教育長（中川宣芳）**

ほかにございますか。

伊藤委員。

**○委員（伊藤和子）**

I C T機器の使い方なのですが、英語学習で音声を聞いたりすることができるとてもいい便利なアイテムだと思うのですが、小学校のほうには特段英語という形では書いていないのですが、導入はされていますか。中学校では、家庭にI C T機器を持ち帰ったときの英語学習の数値がすごく低いですが、ここはどのようにお考えですか。

**○教育長（中川宣芳）**

長谷川学校教育課指導主事兼主幹。

**○学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹（長谷川真）**

英語に関するご質問にお答えいたします。

中学校では、音声を聞く授業を英語科の教諭を中心に実施していると認識しております。この資料には主立ったものを記載していますので、小学校については書いていないのですが、学校によって、個々の教師によって実施していると思いますので、そういったところも併せて課題の一つとして伝えていきたいと思っております。

また、I C Tの使用ではありませんが、生の英語に触れる機会として、各小中学校にA L Tを配置しておりまして、定期的にネイティブの英語に触れる機会を設けておりますので、さらに充実した活動になるように工夫をしているところであります。

**○教育長（中川宣芳）**

どうぞ。

**○委員（伊藤和子）**

個々の教師の力量や、セッティングの仕方によって異なると、平等性、公平性が問われることになってくるので、どの英語教師の方にお子さんが当たったとしても、同じレベルで教育を受けられるようにしていただかないといけないと思います。ほかの教科でもあり得ることなので、そこは強く申し上げたいところです。よろしく願います。

**○教育長（中川宣芳）**

ほかにございますか。

よろしいでしょうか。

(発言なし)

それでは、全体を通じてほかにご発言はありませんか。

加藤委員。

**○委員（加藤由美）**

冒頭の教育長のご報告の中にもありましたが、子どもたちの体調について、最近愛知県内や名古屋市で、コロナやインフルのため、学級閉鎖、学校閉鎖という話が結構出てきて耳にするのですが、小牧市の状況はどんな状況なのかを教えてくださいたいです。

**○教育長（中川宣芳）**

鈴木学校教育課指導主事兼主幹。

**○学校教育課指導主事兼主幹（鈴木久代）**

小牧市の学級閉鎖の状況ですけれども、9月に入ってから小学校で2校、中学校で1校学級閉鎖が行われました。今日現在は、学級閉鎖はございません。

**○委員（加藤由美）**

思ったより少ない、あまり蔓延していない感じですね。ありがとうございます。

**○教育長（中川宣芳）**

ほかにございますか。

(発言なし)

ほかにご発言もないようですので、これにて令和5年第9回定例教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

<閉会 午後 2時36分>

署 名 欄

教育長

委員

委員

委員

委員

作成職員